

821. Wiener 及び Vitali, covering theorem = 就イテ

角谷 静夫 (阪大)

N. Wiener の Duke Math. Journal vol. 5 (1939) = 於テ次, 定理ヲ証明シテキル。

定理 (Wiener)  $A$  ヲ  $m$  次元, Euclid 空間  $R^m$  内ノ有界集合 (必ズシモ measurable ナハナイ) トスルトキ、若シ任意ノ  $x \in A$  = 対シテ  $x$  ヲ中心トスル半径  $r(x) > 0$  ( $r(x)$  ハ  $x$  ト共ニ変化するコトヲ許スモノトス) ノ sphere  $S(x) \equiv S(x, r(x))$  が對應スレバ、 $\{S(x)\}$ ,  $x \in A$  ノ中カラ有限個ノ何レノニツモ互ニ共通点ヲモクヌ sphere  $S(x_1), S(x_2), \dots, S(x_n)$  ヲ選ンデ

$$\sum_{i=1}^n m(S(x_i)) > \alpha_m \cdot m^*(A)$$

トナルヲ示スルコトが出来ル。コゝニ  $m(S)$  ハ  $S$  ノ

measure (即ち volume),  $m^k(A)$  は  $A$  の outer measure を表し  $\forall \delta > 0$  は  $\mathbb{R}^m$  の dimension  $m$  に  $\delta$  を depend する constant である。

Wiener の  $m$  個の parameter の ergodic theorem を論じるときは Vitali の covering theorem を証明してやる。本談話 = 於ては先づ Wiener の定理の簡単な証明を與へ、次は Vitali の covering theorem を証明して見よう。

以下、証明の Vitali の定理の証明として Banach の証明 (Saks の本 = ある程度) より簡単であること云へたが Wiener の定理と Vitali の定理との関係がツクので興味があると思ふ。

Wiener の定理の証明 任意の  $x \in A$  に関する  $\gamma(x)$  の上限を  $\rho$  とせよ。  $\rho = +\infty$  であるが定理の明かす故  $\rho < +\infty$  と假定する。  $2^{-n}\rho < \gamma(x) \leq 2^{-n+1}\rho$  を満足する点  $x$  の全体を  $A_n$  と表はせば  $\{A_n\}$  ( $n = 1, 2, \dots$ ) は互に共通点なく且つ  $A = \sum_{n=1}^{\infty} A_n$  である。

先づ  $A_1$  を考へれば  $A_1$  は有界であり、各点  $x$  は  $\rho/2 < \gamma(x) \leq \rho$  の点を中心とする半径  $\rho/2 < \gamma(x) \leq \rho$  の sphere  $S(x)$  が對應して居る。今同点  $x$  を中心とする半径

3  $r(x)$  / sphere  $S(x, 3r(x))$  を  $S'(x) = \tau$  表  
 ハスコト = スル。  $A_1$  ヨリ有限個ノ点  $x_1^{(1)}, x_2^{(1)}, \dots, x_n^{(1)}$   
 フトツテ  $\{S(x_i^{(1)})\}$  ( $i=1, 2, \dots, n$ ) が互ニ共通  
 点ナリ且ツ  $A_1 \subset \sum_{i=1}^n S'(x_i^{(1)})$  トナル様 = スルコトガ出來ル  
 コトヲ示サシ。

コレヲ示スタメ先ツ  $x_1^{(1)} \in A_1$  ナ任意 = トル。 次ニ  
 $x_1^{(1)}, x_2^{(1)}, \dots, x_p^{(1)}$  ガ既ニ定マツタトキ、モシ

$$A_1 \subset \sum_{i=1}^p S'(x_i^{(1)}) \text{ ナケレバ } x_{p+1}^{(1)} \in A_1 - \sum_{i=1}^p S'(x_i^{(1)}) \text{ ナ任}$$

意 = トル。

此ノ如クシテ行ケバ、モシ上ニ述べタキ  $n_1$  ガ  
 存在シタイトスルト、コノ operation ハ無限ニツ  
 ヅケラレテ  $\{x_p^{(1)}\}$  ( $p=1, 2, \dots$ ) ガ定マル。

先ツ任意ノ二ツノ sphere  $S(x_p^{(1)}), S(x_q^{(1)})$  ガ  
 共通点ヲモタヌコトヲ示サシ。 實際  $p < q$  ナルコトヨ  
 リ  $x_q^{(1)}$  ハ  $S'(x_p^{(1)}) = \tau$  屬シタイカラ

$$\begin{aligned} d(x_p^{(1)}, x_q^{(1)}) &> 3r(x_p^{(1)}) = r(x_p^{(1)}) + 2r(x_p^{(1)}) \\ &> r(x_p^{(1)}) + 2 \cdot \frac{r}{2} \geq r(x_p^{(1)}) + r(r_q^{(1)}) \end{aligned}$$

ヨツテ  $S(x_p^{(1)}), S(x_q^{(1)})$  ハ共通点ヲモタナイ。

次ニ上ニ述べタキ = 無限ニカナル  $\{x_p^{(1)}\}$  ( $p=$   
 $1, 2, \dots$ ) ガ定マルト假定シテ矛盾ヲ出サシ。 任意  
 ノ  $p =$  對シテ  $\{S(x_i^{(1)})\}$  ( $i=1, 2, \dots, p$ ) ガ共通点ヲ  
 モタヌコトヨリ

$$\sum_{i=1}^p m(S(x_i^{(1)})) = m\left(\sum_{i=1}^p S(x_i^{(1)})\right) \\ \leq m(\cup(A, \rho))$$

(但し  $\cup(A, \rho)$  は  $A$  の distance が  $\rho$  以内の各点全体の集合) とし、右辺は  $\rho = \frac{1}{2}$  無関係である。シカルの左辺は各項の半径  $r(x_i^{(1)})$  の sphere の volume であり  $r(x_i^{(1)}) > \frac{\rho}{2}$  が  $i=1, 2, \dots, p$  に対して成立すれば  $p \rightarrow \infty$  とならば矛盾を生ずる。よって  $n_1$  が存在して

$$A \subset \sum_{i=1}^{n_1} S'(x_i^{(1)})$$

となる。

此の如くして所要の  $\{x_i^{(1)}\}$  ( $i=1, 2, \dots, n_1$ ) が見つかつた。

次に一般に  $\{x_i^{(k)}\}$  ( $i=1, 2, \dots, n_k; k=1, 2, \dots, p$ ) が既定義まつて  $\{S(x_i^{(k)})\}$  ( $i=1, 2, \dots, n_k; k=1, 2, \dots, p$ ) の任意二つの共通点を持たず、且つ

$$\sum_{k=1}^p A_k \subset \sum_{k=1}^p \sum_{i=1}^{n_k} S'(x_i^{(k)})$$

となつておくれよ。

$$A'_{p+1} \equiv A_{p+1} - \sum_{k=1}^p \sum_{i=1}^{n_k} S'(x_i^{(k)})$$

トオキ  $A'_{p+1}$  に対して上と同様の議論を行へば (但し

$x \in A_1 =$  對シテ  $2^{-1}\rho < r(x) \leq \rho$  トナツテ  $\text{メタ} =$  反シ,  
 $x \in A'_{p+1} =$  對シテハ  $2^{-(p+1)}\rho < r(x) \leq 2^{-p}\rho$  が成立ス  
 ルコト = 注意)  $\{x_i^{(p+1)}\}$  ( $i=1, 2, \dots, n_{p+1}$ ) が  
 定マツテ  $\{S(x_i^{(p+1)})\}$  ( $i=1, 2, \dots, n_{p+1}$ ) ノ任意  
 ノ  $\text{メツ}$  ハ  $\text{互} =$  共通点ナク且ツ

$$A'_{p+1} \subset \sum_{i=1}^{n_{p+1}} S'(x_i^{(p+1)})$$

トナル。

然ル = 容易 = ワカル如ク  $\{S_i^{(p+1)}\}$  ( $i=1, 2, \dots,$   
 $\dots, n_{p+1}$ ) ハ何レモ  $\{S(x_i^{(k)})\}$  ( $i=1, 2, \dots, n_k;$   
 $k=1, 2, \dots, p$ ) ノ何レトモ共通点ヲモタズカラ、コレ =  
 $\text{ヨツテ}$   $\{S(x_i^{(k)})\}$  ( $i=1, 2, \dots, n_k; k=1, 2, \dots, p+1$ )  
 が  $\text{互} =$  共通点ヲモタズ、且ツ

$$\sum_{k=1}^{p+1} A_k \subset \sum_{k=1}^{p+1} \sum_{i=1}^{n_k} S'(x_i^{(k)})$$

トナル如キ点  $\{x_i^{(k)}\}$  ( $i=1, 2, \dots, n_k; k=1, 2,$   
 $\dots, p+1$ ) が得ラレタ。コノ  $\text{メツ}$  =  $\text{シテ}$  進トバ結局  
 $\{x_i^{(k)}\}$  ( $i=1, 2, \dots, n_k; k=1, 2, \dots$ ) が  
 定マツテ

\* 實際  $x_j^{(p+1)}$  ハ  $S'(x_i^{(k)}) =$  属シナイカラ

$$d(x_i^{(k)}, x_j^{(p+1)}) > 3r(x_i^{(k)}) = r(x_i^{(k)}) + 2r(x_i^{(k)})$$

$$> r(x_i^{(k)}) + 2 \cdot 2^{-k}\rho \geq r(x_i^{(k)}) + r(x_j^{(p+1)})$$

( $k < p+1$  ナル故)

$$A \subset \sum_{k=1}^{\infty} \sum_{i=1}^{n_k} S'_i(x_i^{(k)})$$

トナリ、且  $\forall \{S(x_i^{(k)})\}$  ( $i=1, 2, \dots, n_k$ ;  $k=1, 2, \dots$ ) ハ何レノニツモ互ニ共通点ヲモクナシ。

ヨツテ

$$\sum_{k=1}^{\infty} \sum_{i=1}^{n_k} m(S(x_i^{(k)})) = \frac{1}{3^m} \sum_{k=1}^{\infty} \sum_{i=1}^{n_k} m(S'_i(x_i^{(k)}))$$

$$\geq \frac{1}{3^m} m^*(A)$$

故ニ  $\alpha_m < \frac{1}{3^m}$  ナラバ十分大キイ  $\rho = \text{對シテ}$

$$\sum_{k=1}^{\rho} \sum_{i=1}^{n_k} m(S(x_i^{(k)})) > \alpha_m \cdot m^*(A)$$

コレヲ Wiener ノ定理ノ証明ガ終ル。

次ニ Wiener ノ定理ヲ用ヒテ次ニ Vitali ノ定理ヲ証明シヨウ。

定理 (Vitali).  $A$  ナ  $R^m$  内ノ有界集合 (必ずシモ measurable ナリ),  $\mathcal{E} = \{E\}$  ナ  $R^m$  ノ閉集合  $E$  ノ family トスル。モシ任意ノ  $x \in A$  及ビ任意ノ  $\delta > 0 \Rightarrow$  對シテ  $x \in E$ ,  $E \in \mathcal{E}$  ナル閉集合  $E$  及ビ  $E \subset S$ ,  $\delta(S) < \delta$ ,  $m(E) > \alpha m(S)$  ナル如キ sphere  $S$  ガ存在スレバ (但シ  $\delta(S)$  ハ  $S$  ノ diameter,  $\alpha > 0$  ハ点  $x =$  無関係ナ常数トス),  $\mathcal{E} = \{E\}$  ノうちヨリ可附番個ノ互ニ共通点ナキ閉集合  $\{E_n\}$  ( $n =$

1, 2, \dots) を選んて  $m\left(A - \sum_{n=1}^{\infty} E_n\right) = 0$  とナル様 = スル  
コトが出来ル。

(注意) Vitali の定理ハ  $A$  が有界デナイトキ及ビ  
 $\alpha = \alpha(x) > 0$  が  $x = \text{depend}$  スルトキ = 成立スルノ  
デアアルガ、上ノ場合 = 定理ヲ証明シテオケバ十分デア  
ル。

証明: 先ツ  $\alpha$  ヲ適當ニカヘレバ上ノ定理ノ條件  
= 現ハレル sphere  $S$  が  $x$  ヲ中心ニモツモノデアオキ  
カヘ得ラレルコトニ注意スル。實際  $x$  が  $S$  ノ中心ニ  
ツテキタイトキハ ( $x$  が  $S$  ノ内点ナルコトヨリ)  $S \subset S'$   
テ  $\delta(S') < 2\delta$  ナル如キ  $x$  ヲ中心トスル sphere  
 $S'$  ヲ作ルコトが出来ル。ヨツテ  $\alpha$  ヲ  $\frac{\alpha}{2m}$  デオキカヘレ  
バ  $S$  ノ中心ガ  $x$  デアルト考ヘテ差支ヘナイ。

先ツ  $A_1 = A$  トオキ  $A_1$  ノ各点  $x = \text{對シテ}$   $x \in E(x)$ ,  
 $E(x) \in \mathcal{E}$  ナル閉集合  $E(x)$  ト  $E(x) \subset S(x)$ ,  
 $m(E(x)) > \alpha m(S(x))$  ナル sphere  $S(x)$   
トヲ對應セシメル。Weierstrass の定理ニヨリ  $x_1^{(1)}, x_2^{(1)},$   
 $\dots, x_n^{(1)}$  ガ定マツテ  $\{S(x_i^{(1)})\}$  ( $i = 1, 2, \dots, n_1$ )  
ハ何レノニツモ互ニ共通点ヲモタズ。且ツ

$$\sum_{i=1}^{n_1} m(S(x_i^{(1)})) > \alpha_m \cdot m^*(A_1)$$

デアアル。閉カ =  $\{E(x_i^{(1)})\}$  ( $i = 1, 2, \dots, n_1$ )  
ハ互ニ共通点ヲモタナイ。

次 = 一般 =  $\{E(x_i^{(k)})\}, \{S(x_i^{(k)})\}$  ( $i=1, 2, \dots, n_k; k=1, 2, \dots, p$ ) が既定義サレタト  
 非、 $A_{p+1} = A - \sum_{k=1}^p \sum_{i=1}^{n_k} E(x_i^{(k)})$  トオク。  $A_{p+1}$  ノ各点

ハ開集合  $\sum_{k=1}^p \sum_{i=1}^{n_k} E(x_i^{(k)})$  ト positive distance

ヲモツカラ各々ノ  $x \in A_{p+1} =$  對シテ  $x \in E(x),$   
 $E(x) \in \mathcal{E}$  ナル開集合  $E(x)$  ト  $E(x) \subset S(x),$   
 $m(E(x)) > \alpha m(S(x)), S(x) \cdot E(x_i^{(k)}) = \Lambda$   
 ( $i=1, 2, \dots, n_k; k=1, 2, \dots, p$ ) ナル sphere  
 $S(x)$  トヲ 對應セシナルコトガ出來ル。

コノ  $S(x)$  ノ system = 對シテ再ビ Wiener ノ  
 定理ヲ用フレバ有限個ノ  $A_{p+1}$  ノ点  $x_1^{(p+1)}, x_2^{(p+1)}, \dots,$   
 $\dots, x_{n_{p+1}}^{(p+1)}$  ヲ選ンテ  $\{S(x_i^{(p+1)})\}$  ( $i=1, 2, \dots, n_{p+1}$ )  
 ハ何レノ = ヲモツ = 共通点ナリ且ツ

$$\sum_{i=1}^{n_{p+1}} m(S(x_i^{(p+1)})) > \alpha_m \cdot m^k(A_{p+1})$$

トナルマツ = スルコトガ出來ル。 コノ operation ハア  
 ル  $p =$  對シテ  $A_{p+1}$  ガ空集合 = ナラナクレバイクラデモツ  
 ヲケルコトガ出來ル。  $A_{p+1}$  ガ空集合 = ナレバ 定理ハ明ラ  
 カ = 成立スルカラ, コノ operation ハ無限 = ツバケラレ  
 ルト假定シテ差支ナイ。

$\{E(x_i^{(k)})\}$  ( $i=1, 2, \dots, n_k; k=1, 2, \dots$ )  
 ハ明カ = 互 = 共有点ヲモツナイ。 ヲツテ

$$m(A - \sum_{k=1}^{\infty} \sum_{i=1}^{n_k} E(x_i^{(k)})) = 0$$



トナルコトヲ証明スレバ定理ノ証明ハ完結スル、コノタ  
 $\delta = \frac{1}{2} \epsilon \rightarrow \infty$  ナルトキ  $m^*(A_k) \rightarrow 0$  トナルコトヲ示セ  
 ンカ分テアル。シカルニ  $\{E(x_i^{(k)})\}$  ( $i = 1, 2, \dots, n_k$ ;  
 $k = 1, 2, \dots$ ) ハ互ニ共通点ヲモタヌコトヨリ

$$\sum_{k=1}^{\infty} \sum_{i=1}^{n_k} m(S(x_i^{(k)}))$$

$$\leq \frac{1}{2} \sum_{k=1}^{\infty} \sum_{i=1}^{n_k} m(E(x_i^{(k)})) < \infty$$

$$\exists \text{ ヲテ } \lim_{k \rightarrow \infty} \sum_{i=1}^{n_k} m(S(x_i^{(k)})) = 0. \text{ 即チ } m^*(A_k) \rightarrow 0$$

カ得ラレイル。(証明終)